



# 御園だより

令和6年度 10月号  
大田区立御園中学校  
校長 古川 大輔



創造～社会とつながり、社会の一員として貢献しようとする生徒～

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

## 御園祭

本校におきまして第43回御園祭を開催いたします。令和6年10月26日(土)に午前の部合唱コンクール、午後の部舞台発表を行います。令和7年3月7日(金)・8日(土)に展示を行います。「今だ つなげ 熱い思い ～御園が創る最高の一時～」のスローガンのもと、生徒たちは平素の学習活動の成果の発表に向け、その向上の意欲をいっそう高め、文化や芸術に親しみ、日々の学習に取り組んでいます。また、実行委員を中心に全校生徒が協力し準備を進める中、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度が育まれています。

つきましては、公私ともにご多用のことと存じますが、御園祭での合唱と発表をご鑑賞いただくとともに、生徒たちの学習の成果をご覧いただければ幸いです。保護者の皆様のご来校を心よりお待ちしております。

## 全校朝礼

全校朝礼でこのような話をしました。

「遠きをはかる者は富み、近きをはかる者は貧す」という言葉が二宮尊徳の教えとして伝わっています。述べられているのは、おおよそ次のようなことです。遠い未来のことを考える者は、百年先のために松や杉の苗を植える。もちろん、秋に実るものを考えて春に種をまく。だから豊かになる。ところが、目先のことしか考えない者は「春に植えたものが秋に実るなんて遅過ぎる」と言い、ただ目の前の利益に欲が出て収穫することのみに目を向けている。だから、貧しくなる。そもそも種をまくことも植えることもせずには収穫するのは、一見利益があるようだが、一度取ってしまえば二度目はない。一方、種をまいて取り、植え付けをして刈り取るのであれば、年々歳々尽きることがない。これを無尽蔵と言う。

無尽蔵は、今で言うところの持続可能な社会のこと。遠きをはかる者は、持続可能な社会の創り手のこと。これからの社会を「創造」する持続可能な社会の創り手はみなさんです。主体的に行動し、授業や学校行事をとおして、自己肯定感や自己有用感をもち、自らの可能性をさらに伸ばしていきましょう。

さて、生徒が主役の御園中らしく、実行委員を中心に御園祭に向けた準備が進んでいます。みなさんが学級合唱、学年合唱、発表、係活動などの活動に熱心に取り組んでいる様子を見ていると本番が待ち遠しいです。私たち御園の我らが、熱い思いをつないでいくことはもちろんのこと、ハーモニーを生み出す指揮、伴奏、会場に響き渡る合唱、優れた発表を披露し、見る人、聴く人を感動させる最高の一時を創り出してくれることを期待しています。

本校ホームページ「Misono Diary」に活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。